

CD30・Ber-H2（免疫組織化学染色）		P000030			
		担当部署			
CD30		病理			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→			
	2	電子カルテ→指示②→病理組織検査→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が6時間未満72時間以上 2) 未染スライドで6週間以上放置されていたもの 3) コーティング加工がされていないスライドガラス			
検査受付時間		8:15~16:00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		治療前			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	未染スライドガラス	該当なし	該当なし	1	枚
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		該当なし			
検体受入不可基準		破損したスライドガラス			
保管検体の保存期間		スライドガラス：半永久 *保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科			
測定時間		2～3 日			
生物学的基準範囲		該当なし			
臨床判断値		『悪性リンパ腫における CD30 病理診断ガイドブック』を参照			
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		<p>CD30 は、ホジキンリンパ腫における単核のホジキン細胞および多核の Reed-Sternberg 細胞や、未分化大細胞型リンパ腫で発現します。本抗体は、リンパ腫や、リンパ節、脾臓、扁桃腺、胸腺に散在する活性化した大型の B 細胞および T 細胞の細胞膜、細胞質、ゴルジ体に反応を示します。また、形質細胞のごく一部でも反応を示すことがあります 8,9,10。本抗体による CD30 タンパクの検出は、ホジキンリンパ腫および未分化大細胞リンパ腫において、抗 CD30 抗体治療薬の適応を判断するための指標として使用可能です。</p>			